

切実な問題とは・・・

切実な問題（本気で考えたい問題）

＜子どもが問題！と思うもの＞

≠

課題

＜いわゆる教師から提示される
目標に到達するための課題＞

切実だから ひびきあう

- ・研究では切実な問題を追究する過程を授業で実現する。
- ・切実な問題を追究していく過程で、課題は出てくるかもしれないが、それは課題と区別するために「小さな問題」とする。

切実な問題になりうる3つの条件

- ① 事実に基づく問題←（いつも確認するもの）
- ② 多様な、あるいは異質な考えや立場に出会う・知ることができる問題
- ③ 葛藤を内にもつ（＝モヤモヤした自分の考えがはっきりしない状態）
単純に（どうしたらよいか）自分で判断できない問題

＜資料②＞ 前回参考にした小林先生著書 P104

＜資料③＞ 小林先生の著書 P47

教える内容と学ぶ主体どちらも大事に
できるような、授業のスキルアップを目標
指していきたいですね。